

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北海道)		* 一般小売店〔土産〕（経営者）	* お客様の様子	* ・2月は大雪に見舞われた月であったが、冬の恒例のイベントや春節などの効果で助けられた。ただ、当地全体で見ると、企業の倒産が続いているなど、景況感は余り良くない。倒産の約3割は人手不足によるものであり、隣接する都市部で賃金水準が上昇し、当地の若者が流出していることが原因となっている。
		百貨店（売場主任）	単価の動き	・当社の店舗では、いずれも来客数の前年割れが続いているが、売上は前年を上回っている。富裕層を中心に高額な特選ブランド品や宝飾品などが売れていることが客単価アップにつながっている。
		百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・全体的には来客数の減少や買上率の低下がみられたものの、今年の春節が冬の恒例イベントよりも後にずれ込んだことで中華圏からの来客数が伸びており、それに伴い客単価が大きく上昇した。全体売上は前年を上回って推移している。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・節約志向は依然としてあるが、目的買いの際には高単価商材を購入する動きもみられる。特に節分の恵方巻き、バレンタイン、学生服などで、そうした動きが顕著であった。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・前月に続き、客単価が前年よりも上がっている。来客数は減少しているが、売上は前年実績を上回った。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・例年2月から新生活に向けてのスーツ需要が高まる傾向にあるが、今年は出足が早く、販売量が前年を2割上回り、ピークの3月に近い数字となるなど、好調であった。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・3か月前と比べると、販売台数は明らかに伸びている。ただ、当地の場合、3月が最盛期となるため、4月以降は段々と買い控えが進むことになる。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・Webでの予約が観光客、ビジネス客共に好調である。また、春節の外国人観光客も効率良く取り込むことができた。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・流氷の接岸とともに冬季観光客が増加している。外国人観光客は、特に国内線乗り継ぎ個人客が増加している。ひがし北海道広域観光周遊ルートの冬季観光需要拡大策が少しずつ浸透してきていることが要因とみられる。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・1次産業の秋の収穫が好調であったことから、地域経済に波及効果が生じている。また、建設関係からの受注も順調に推移している。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・春商戦用の新商材に対する個人需要が全道各地でみられており、売上も想定を上回っている。また、光回線が地方まで普及したことにより、光サービスの需要も地方を中心に想定を上回る引き合いがみられる。
		観光名所（従業員）	来客数の動き	・2月25日時点の利用乗降客数は前年比106.1%となっている。当地では近年まれにみる大雪が続いているにもかかわらず、外国人観光客の入込に勢いがあり、過去3か月間、前年を上回る状況が継続していることから、景気はやや良くなっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・大雪などの天候不順と平昌オリンピックのテレビ放送の影響で来客数が減少した。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・客の様子をみると、平昌オリンピックで金メダルが取れたことに喜んでおり、景気のことはおくびにも出さずに過ごしている。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・例年であれば、2月は年金が支給される15日以降の来街者がやや増加する傾向にあるが、今年は冷え込みの厳しさや降雪の影響で自家用車を利用する来街者も、区域内の公共交通機関を利用する来街者も減少した。また、ふだんの月と比べて、買物袋を持ち歩く地域住民の姿も少なかった。	

商店街（代表者）	販売量の動き	・ 2月は急激な落ち込みがみられた。平昌オリンピックのテレビ観戦により、外出を控えたためとみられる。同様に夜の飲食もカーリングなどのテレビ放送があったため、非常に悪かった。外国人観光客の動きをみると、冬の恒例イベントの開催期間こそ順調であったが、春節の期間に入ると悪くなった。これまでとは動きが変わっており、何らかの対策が必要になってきている。
一般小売店 〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・ ここ最近の販売量、売上は良くもないが、悪くもなく、底堅く推移している。ただ、本来の活気のある動きとはいえない。
百貨店（担当者）	単価の動き	・ 若干のマイナストレンドが続いている。客の消費マインドは依然として冷え込んでおり、必要なものを選別して購入している。
スーパー（役員）	来客数の動き	・ 2月は客単価、商品単価、客1人当たりの平均買上点数などの指標が前年から4%前後上昇したものの、来客数が大きく減少していることで売上は若干の減少となった。前年と比べて店舗数は増加しているが、大雪の影響で客の買物の頻度が低下しており、そのことが全体売上にも影響している。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・ これまで回復基調にあった来客数の動きが今一つであり、前年比もここ3か月では最も低かった。気温が低かったことに加えて、地域によっては積雪量が増えたこともあり、客の動きが鈍っている。ただ、客単価が上昇しているため、全体売上は横ばいであった。
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・ ビールなどの嗜好品の売上が増加している。今年は雪が多いことで、除雪業者などの動向が良いことが理由とみられる。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・ 来客数が減少している。ただ、客1人当たりの買上点数は増加している。
家電量販店（店員）	お客様の様子	・ 家電品の独り立ちセットの下見客が例年よりも少ない。平昌オリンピック需要も期待したほどではなかった。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・ 前年後半から大きな変化のみられない状況が続いている。新しい商材が少ないことも多少影響しているが、増販期に入った現在も変化がみられない。
その他専門店 〔医薬品〕（経営者）	お客様の様子	・ 2月が厳寒期であることを考慮すると、景気は悪いとはいえない。目的を持って商材の購入を考えている客も増えている。ただ、営業日数が少ないことがこたえた。
その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（経営者）	販売量の動き	・ 石油製品価格が上昇傾向にあるが、販売量に変化はみられない。
高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・ 2月は大雪の影響で交通渋滞が生じるなど、地元客が外食するような雰囲気にはないが、得意客は関係なく来店している。下旬には卒業旅行とみられる若者の来店もあった。また、外国人客は相変わらず数多く来店している。全体売上は前年とほぼ横ばいであった。
高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・ 平昌オリンピックの影響で注目種目の放映日を中心に夜の売上が激減しており、全体としてはやや悪かった。例年、各地の生産者による年度末の試食会、研修会などが行われる時期であるが、今年は予約もなかった。他店の様子を見ると、知人の店では人員不足が慢性化しており、客の少ない日はスタッフが安心していたとのことであった。また、ホテルでは朝食バイキングで多量の生野菜を使っているが、青果品の価格が再度上がり始めているため、大丈夫なのかと心配になるほどである。
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・ 前月に引き続き問合せ件数や先行受注状況がやや良かった。
タクシー運転手	来客数の動き	・ 乗務員不足で稼働率が落ちている。1台当たりのタクシーの売上は若干プラスになっているが、会社全体としての売上は大きなマイナスとなった。
タクシー運転手	単価の動き	・ 地域の今年度分の各種イベントも終了しており、人の動きが望めない。
タクシー運転手	競争相手の様子	・ 同業他社の稼働状況を見ると、全体的に低下している。

	通信会社（社員）	来客数の動き	・特に変化は感じられない。例年であれば客の動きが活発化する時期であるが、プロモーションなどが前倒しになっていることで、本来上向くはずの時期に動きがみられなかった。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・2月も同じような売上で推移している。暖房費や野菜などの食料品が値上がりしている影響なのか、年金生活者の来店サイクルが長くなってきていることが気掛かりである。
	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	来客数の動き	・天候悪化による欠航回数が引き続き増加傾向で推移している。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・分譲マンションのモデルルームへの来客数は総じて堅調であるが、客の購入意思決定に要する時間のばらつきが大きくなっている。また、平昌オリンピックの影響で期間中の来客数と販売戸数が減少した。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・2月も来客数が前年を10%ほど下回っている。節分コーナーに対する客の反応が余り良くなかった。
	スーパー（企画担当）	お客様の様子	・節分やバレンタインなどの商戦の売上は、前年と比べてやや不調であった。前年までは比較的高単価のこだわり商材が売れ筋であったが、今年は低価格帯の商材がよく売れており、結果的に売上減少につながった。
	スーパー（役員）	来客数の動き	・大雪の影響に加えて、平昌オリンピックのテレビ放映の影響もあり、客が外出しない傾向が強くなっている。日用品の消費が全体的に落ちている。
	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・来客数も減っているが、客単価も落ちている。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・当地において、かつてないほどの積雪がみられている影響で販売量の動きが停滞している。
	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・春節期間中のアジア圏からの観光客が前年よりも減少している。
	観光型ホテル（役員）	単価の動き	・国内客、国外客共、宿泊単価の伸びが止まった。一方、物価高によりコストがかさみ、収益が悪化している。
	タクシー運転手	販売量の動き	・例年、この時期は降雪によりタクシーの運行本数が増加することになるが、今年はマイカーでの移動を控えるような降雪状況であったにもかかわらず、増収とはならなかった。
	タクシー運転手	来客数の動き	・観光客の利用も、イベント関係のオーダーも減少傾向にある。事前予約が減少しており、外国人観光客を中心とした間際のオーダーが目立つ。
	タクシー運転手	お客様の様子	・ここ3か月、景気の変わらない状況が続いている。今年は特に大雪の影響で客の動きが鈍くなっている。例年、2月は厳しい月である上、当地の景況感も良くないことから、景気はやや悪い。
	パチンコ店（役員）	単価の動き	・野菜などの価格上昇や原油価格の高止まりの影響で景気はやや悪い。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・大雪の影響で外出を控えている客が多く、来店サイクルが伸びている。
	× 商店街（代表者）	販売量の動き	・雪が降り過ぎていることで、客足が余りにも悪い。原材料価格の高騰も収まらないことから、収益的に厳しい状況にある。
	× 百貨店（役員）	販売量の動き	・売上加えて、来客数も減少している。
	× 百貨店（営業販売促進担当）	来客数の動き	・平昌オリンピックが始まってからの2週間の来客数が特に減少している。
	× コンビニ（オーナー）	来客数の動き	・外国人観光客が減少している。
	× 住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・当地はまれにみる大雪に見舞われ、気温も低く推移していることから、モデルハウスや建築関係の来客数が大幅に減少している。また、小売部門の来客数も減少している。除雪費の負担も跳ね上がっており、非常に悪い状況となっている。
企業動向関連	-	-	-
(北海道)	その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・2月は商材の動きが好調であり、売上も見込みを5%ほど上回った。ただ、大幅な回復まではみられない。
	家具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・平昌オリンピックの影響もあるが、最近の厳しい寒さの影響で、全般的に消費行動が低迷している。

	建設業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・大手建設会社や地元大手建設会社の抱えている仕事量は飽和状態にあるが、これよりも規模の小さい建設会社には仕事が行き渡っていないため、業者間での低価格受注競争が厳しくなっている。	
	建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・受注工事の進捗状況はほぼ計画どおりであり、年度計画を上回る完成工事高と利益が確定している状況に変化はみられない。	
	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・冬場のため、輸送量は落ちたままであるが、営業部においては建材関連輸送の見積依頼や引き合いの件数が増加してきている。	
	輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・前年の農作物の収穫が好調であった割に、物流への恩恵が今一つ感じられない。特に倉庫保管に関しては、在庫のない状態でスタートしているだけに、生産地から直接輸送するケースが多く、保管期間も短期になる傾向が強くなっている。	
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・ここ最近、株価の乱高下がみられるものの、取引先においては案件数、受注数共に堅調に推移しており、これまでどおり業績のやや良い状況が続いている。	
	金融業（従業員）	取引先の様子	・生鮮食品やエネルギー関連の価格高止まりの影響から、個人消費の節約志向が強まっているが、外国人観光客の消費が引き続き堅調なことから、景気は横ばいでの推移となっている。	
	司法書士	取引先の様子	・冬期間のため、土地取引や建物の新築物件、中古物件などの取引が停滞傾向にある。特に今年は降雪量が記録的に多いことから、不動産業や建築業において大きな影響が出ている。	
	コピーサービス業（従業員）	取引先の様子	・取引先の様子をみると、設備投資に対してまだまだ慎重な姿勢が続いている。	
	その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・災害復旧工事関連が一段落したものの、北海道新幹線の延伸工事など、民間の建築意欲が旺盛である。	
	その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・売上が前年を10%強上回る状況が続いている。	
	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・3か月前の11月の販売量は前年比プラス7.2%であったが、2月の販売量は前年比プラス1.7%となっている。	
	司法書士	それ以外	・今冬は暖房用の灯油価格が高止まりしている上、寒さも厳しいことから、灯油の使用量が多くなりがちである。また、葉物野菜などの価格も上昇している。これらのことから、節約などの対抗策で支出を抑える状況がみられる。前年と比べて家計が厳しくなっていることで景気が下向きになっている。	
	x	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・年明けからの売上の落ち込みがひどく、前年と比べても1割近く減少している。
雇用 関連 (北海道)	-	-	-	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・自動車関連、小売業、不動産業などで消費の動きが活発になっていることで雇用環境も上向いている。	
	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・客先から、人手は欲しいが募集しても人が集まらないため、求人広告の出稿を控えるとの話があちこちで聞かれるようになった。	
	求人情報誌製作会社（編集者）	求職者数の動き	・建設、運輸、介護の正社員が極端に不足している。また、小売や飲食店のアルバイト、パートも不足しており、主婦やシニアへのニーズが一層高まってきている。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・月間有効求職者数が6年3か月連続で前年を下回り、月間有効求人数が12か月連続で前年を上回ったことから、有効求人倍率は1.08倍と前年を7年11か月連続で上回った。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が7か月連続で前年を上回る状況の下で、応募者が依然として少ないことから、人手不足対策として正社員への登用を積極的に行うとともに、技能講習や資格取得を支援するなど、少ない人員で効率的な作業を行うことを目指す取組がみられる。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は増加に転じたが、人手不足となっている業種での増加が中心であり、景気が上向きにあるとまではいえない。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・1月の有効求人倍率は1.08倍となり、前年を0.08ポイント上回るなど、高い水準で推移している。	

	学校 [大学] (就職担当)	求人数の動き	・ 3 月 1 日からの新卒学生の就職活動の開始を控えて、各企業の採用担当者の動きが良い。企業側が早めに良い学生と接触する機会を強く求めており、採用意欲の高さがうかがえる。
	求人情報誌製作 会社 (編集者)	求人数の動き	・ 求人件数が前年を下回って推移している。
x	-	-	-